

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム グリーンハウス
日付	平成18年2月10日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での看護業務歴33年(内老人病棟で18年)、家族介護歴7年 病院での認知症高齢者の看護、介護業務歴36年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
・周囲には自然公園や田んぼ、神社、スーパーもあり、環境に恵まれています。
・住宅街に位置し、近隣との付き合いを大切にしています。
・落ち着いた色調の平屋の建物で、内部は全てバリアフリーになっています。ホーム内は天井が高く、自然の光を採り入れられる天窓があり、明るく、広々としており、開放感があります。危険防止のため、角に丸みのある家具が詭えてあります。装飾は適度で、家庭的な雰囲気があります。
・入居者や家族の希望があれば、ターミナル期をホームで迎えることも可能です。最近、ある入居者が、看護師を中心とした職員の見守りのもと、ホームで最期を迎えられました。安らかな最期に、ご家族も感謝されたそうです。今後も、希望があれば、ターミナルケアに取り組んでいきたいと考えています。
・前回の評価で、改善の余地があると指摘された点については、積極的に改善に取り組んでいました。
特に改善の余地があると思われる点
・会議は、定期的開催されていますが、話し合いの過程で出たさまざまな意見や経過、結果が、出席できなかった職員に確実に伝わりにくいように感じました。記録の仕方や、伝わったかどうかを確認する仕組みについて、再検討されてはいかがでしょうか。
・身体機能の維持については、転倒を防ぐため、バランス感覚を養ったり、筋力の低下を予防するよう、年間を通し、無理なく継続して活動できるような取り組みを検討されてはいかがでしょうか。
・事故報告書やヒヤリハット報告書がありますが、事故の内容が一目で分かりづらいように感じました。内容を分析して、原因の究明や再発予防に努めることが必要と考えます。データの分析に役立つような書式について、再検討されてはいかがでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
	<p>・「明るく、楽しく、あたたかく、みんな仲良く！」をモットーにしています。家庭的な雰囲気の中で、その人らしく生活していただけるようにと願っています。入居者一人ひとりの考えを尊重し、同じ目線で会話をするように心がけています。</p> <p>・職員は常に入居者のペースに合わせることができるよう、お互いに協力、サポートをし合っています。</p> <p>・入居者・家族の希望があれば、ターミナルケアについても取り組みを継続していきたいと考えています。</p>		

ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。		
	<p>・入居者を人生の先輩として尊重した対応をするよう、心がけています。</p> <p>・一人ひとりの持てる力や経験、生活歴などについては、入居時や家族の訪問時に情報を得ています。個別性を知って、日常生活や会話の中に活かすようにしています。</p> <p>・居室に入るときは、ノックと声かけをし、返事を確認してから入室するよう、プライバシーの保護に配慮しています。夜間の見まわり時の入室については、事前に説明をしています。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
	<p>・入居者の生活歴や得意なことを把握し、好きなこと、できること、楽しめることなどを見つけて、ホームでの生活が充実するように支援しています。</p> <p>・入居者は、ユニット間を自由に行き来したり、庭に出たりしています。職員は入居者の所在を常に把握できるように、ユニット間でも協力をし合っ、見守りをしています。</p>		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<p>・職員の資質向上を図るために、継続的な研修を義務づけています。外部の研修にも参加しており、参加者は研修報告書を提出し、伝達講習をしています。</p> <p>・他施設と情報交換をし、良いところを採り入れて、サービスの質の向上に役立てています。</p> <p>・日頃から入居者や家族とより良いコミュニケーションをとり、信頼関係を築くように心がけています。</p> <p>・避難訓練は年に2回、入居者と一緒に行っています。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		